

■庁舎、文化会館整備の必要性の補足事項

1. 庁舎、文化会館の整備の必要性

現庁舎、現文化会館ともに、安全性・利便性など多くの点で機能が低下していることが判明し、**耐震性の確保、防災拠点機能の確保、及び、変わりゆく社会環境への対応**などの観点から、**早急に施設整備の対応が必要**である。

また、多様な市民活動やコミュニティ活動をより一層発展させ、地域住民や団体、ボランティア、行政など**多様な主体が連携し協働できる体制づくりを積極的に進めていくことが重要**となっている。

なお、整備手法においても、事業費や機能面から「**全面建替え**」が有利であり、庁舎と文化会館それぞれを単独に建替えた場合と合築による建替えでは、「**合築**」の方が有利となっている。

(比較検証については、基本計画案参照)

2. 庁舎、文化会館複合化の意義

1) 将来への対応

- ・富良野市公共施設等総合管理計画書に記載のとおり、今後の人口減少と高齢化進展が予想される中、公共施設等の老朽化が進み、維持していくことが困難になることが見込まれることから、計画的に効率よく公共施設等の整備や維持管理をしていく必要がある。

■富良野市公共施設等総合管理計画書

基本方針 1

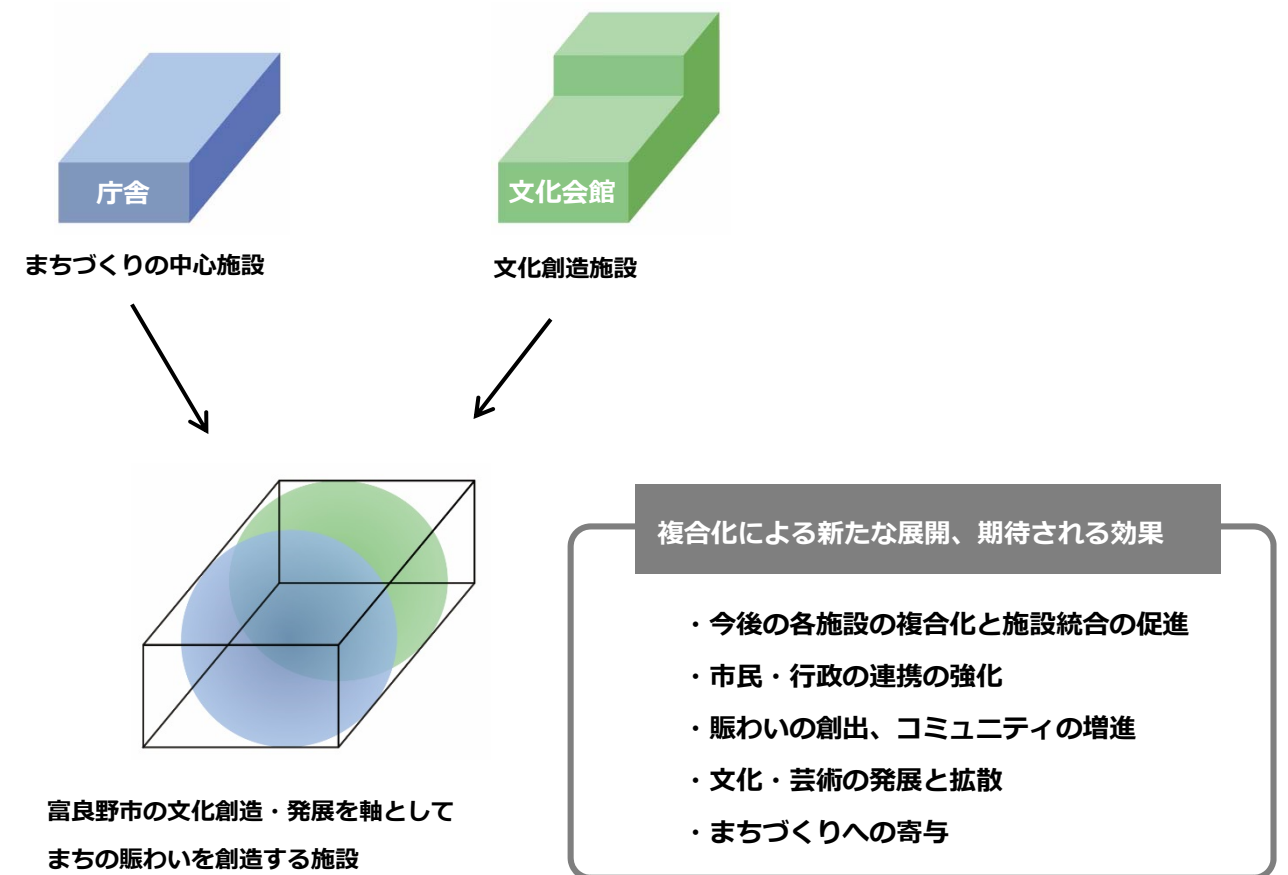
新規施設を含む公共施設の選択と集中（複合化と施設統合）・低コスト化

- ・施設床面積を人口減少にあわせて**適正な規模に縮小**する
- ・複数の目的別施設を**複合したものとして整備し面積の縮小をはかる**
- ・移動手段を確保し**複数の施設を集約統合**する
- ・整備費用だけに着目せず、維持経費を合わせた**全体で費用低減**できる施設整備を目指す
- ・整備計画があるもので整備予定の用途が立たないものについて市民意見を踏まえた見直しをはかる(予定公物に長年掲載されていて整備の用途がたっていないもの)
- ・今後 20 年間で公共施設建物床面積を現状から 2 割削減する
- ・ユニバーサルデザイン化の一層の充実をはかる

- ・今後、老朽化した公共施設の建て替えや改修には、多額な費用がかかるため、より一層**財政への負担軽減を図る**ことが必要である。
- ・更新が必要な公共施設は、「**集約化**」や「**複合化**」により**施設の効率化**を図っていくことが求められる。

2) まちづくりへの寄与

- ・まちの賑わいは、そこを立地とする多様な施設と、そこに集う多様な目的を持った来訪者によってもたらされる。
- ・単一的な機能をもつ施設は、その施設利用を目的とした利用者が来訪するだけにとどまり、まちの賑わいを拡散させるような多様な市民活動の拠点的役割を担うことは期待できない。
- ・公共施設を複合化することにより**多様な市民利用を誘発し、地域交流や世代間交流を促す**とともに、相乗効果を生み出し、**新たな賑わいを創出**させるような活発な利用が期待される。
- ・庁舎と文化会館の複合化は、市民相互や行政との連携を深め、単一的な施設では得られなかった**新たなコミュニティを創出し、富良野市の文化の発展に寄与**することが期待される。



### 3. 庁舎、文化会館複合化の目的

- ・集約化、複合化による効率的な施設の実現により将来負担コストの軽減を目指す。
- ・単なる既存施設の合築ではなく、機能が複合化することによる特色を最大限に生かし、市民と地域、行政をつなぎ連携を強化するとともに、まちの魅力を発信していくような施設の実現を目指す。
- ・新庁舎複合施設がまちづくりの拠点となり、富良野市のたくさんの人材をつなぐことで、まちの活力の強化と、新たな文化を生み出すきっかけとなる施設の実現を目指す。
- ・文化芸術の創造、発表の場としてだけでなく、情報の集約・発信の機能を活かすことで、富良野市の文化芸術の発展と拡散に寄与する施設の実現を目指す。
- ・施設の集約化・複合化により、市民の利便性を向上させ、高齢者を含めた多くの人にとって暮らしやすく、賑わいのある持続可能なまちづくりを推進する施設の実現を目指す。



上記の実現により、富良野市のまちづくりを推進する施設となることを目的とする。

富良野市の将来像（第5次富良野市総合計画）

**安心と希望、協働と活力の大地『ふらの』**

= まちづくりのテーマ =

住み続けたいまち、そして、子どもたちに誇れるまちをめざして

目的を踏まえた施設計画のテーマ設定

**『人、まち、自然をつなぎ、次世代の子どもたちへつなぐ庁舎』**

### 参考) 庁舎と他用途施設の複合化事例

**豊島区役所 としまセンタースクエア、コンビニ、カフェ**



としまセンタースクエア



1階 3階

区の主催事業や区民との共催、協賛事業でのみ利用可。区の行事や展示・発表会など多様な区民活動に利用可能。また、災害発生時には、被災情報の提供や生活相談などの場として活用。

---

**長岡市役所 市民交流ホール、シアター、アリーナ、ナカマド（屋根付広場）**



ナカマド



市民交流ホール A



1F

屋根付き広場「ナカドマ」を中心に、市庁舎をはじめ、議会、多目的アリーナ、市民交流スペースなどの機能空間が有機的に連携した複合公共施設となっている。こうした空間デザインによって、市民どうしの活発な交流活動が生み出されている。

---

**甲府市役所 コミュニティホール、コンビニ**



市民活動室



展示コーナー



1階の市民コミュニティホール（市民プラザ・市民活動室）を行政と市民団体などの協働による活動を積極的に支援する為に貸し出し。閉庁時は、本庁舎に併設される来庁者用駐車場も貸し出し。コミュニティホール使用者は、市との協働による活動を行う者として